

平成 31年 07月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成31年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

雪国越後ECO住宅

グループの名称

雪国越後ECO住宅推進協議会

直近採択グループ番号

07-0688-0302

(グループ代表者)

代表者名

布施 勝彦

代表者印

代表者所属先

株式会社アスカ創建

代表者所在地

新潟県上越市頸城区手島1682

代表者電話番号

025-530-3854

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社オタケ

事務局担当者名

尾竹 淳一

印

事務局郵便番号

943-0823

事務局所在地

新潟県上越市高土町3-1-1

事務局電話番号

025-524-3379

事務局FAX

025-522-5374

事務局担当者E-mail

j-otake@otake-kenzai.com

グループ基本情報・事務局体制・グループ構成

グループ名称	雪国越後ECO住宅推進協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0688	— 0302

グループの基本情報

1. 地域型住宅の名称(必須)	雪国越後ECO住宅			
2. グループの名称(必須)	雪国越後ECO住宅推進協議会			
3. 結成年(必須)	2015	年		
4. グループHPの有無(必須)	無			
5. グループHPのURL(有の場合必須)				
6. H30採択グループ番号(必須)	07	—	0688	— 0302
7. グループの特徴	<p>雪国である新潟県でも、先進的な省エネ住宅を促進していく為にZEH住宅はもちろん、認定住宅や長寿命住宅の積極的な取り組みを行っています。</p> <p>事務局は、この地域で9年前から太陽光発電のメーカーFC店として取り組んで来ました。その実績も生かしながら、断熱・自然エネルギー・雪国での住まい方など、専門的かつ地域に密着した住宅を供給する為の情報共有を行うことが出来ます。</p> <p>今後ますます普及していく省エネ・高性能住宅を、全力で支援しながら成功体験の共有を組織内で取り組んで行くグループであります。</p>			
8. 代表者氏名(必須)	布施 勝彦			
9. 代表者の所属先(必須)	株式会社アスカ創建			
10. 代表者所在地(必須)	新潟県上越市頸城区手島1682			
11. 代表者電話番号(必須)	025-530-3854			
12. 事務局事業者名(必須)	株式会社オタケ			
13. 事務局担当者名(必須)	尾竹 淳一			
14. 事務局郵便番号(必須)	943-0823			
15. 事務局所在地(必須)	新潟県上越市高土町3-1-1			
16. 事務局電話番号(必須)	025-524-3379	17. 事務局FAX番号(必須)	025-522-5374	
18. 事務局担当者E-mail(必須)	j-otake@otake-kenzai.com			

グループの事務局体制

19. 事務局業務の外部委託の有無	無	20. 委託先業者名	
21. 専任担当者の配置の有無	有	22. 委託先担当者名	尾竹 淳一
23. 担当者連絡先(携帯電話)	080-6705-0451		
24-1. 事業者の認定申請サポート体制の有無	有	25-1. サポートを行う認定申請名	尾竹 淳一
24-2. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-2. サポートを行う認定申請名	
24-3. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-3. サポートを行う認定申請名	
26. グループ内情報共有手段の有無	有		
27. 情報共有の手段	グループ会議・毎月のミューズレター発行・完成見学会など		

グループの構成

構成員	構成員数	構成員に含まない理由
I. 原木供給	9	海外事業者から原木を調達するため、原木供給事業者名を特定できない 原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	8	
III. 建材流通 (木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	4	
V. 設計	2	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

使用する地域材・要望戸数・申請実績

グループ名称	#VALUE!			
H30採択グループ番号	07	—	0688	— 0302

使用する地域材

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称		地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下の1、2、3、4の番号を番号記入欄に表記。	番号	国内・国外
	<input checked="" type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		国産材	1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度 (FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(H18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品 (合法伐採木材等証明)	3
<input checked="" type="checkbox"/>	合法木材証明制度を利用する		外材	3		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		国産材	2		国外
<input type="checkbox"/>	PEFC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	SGEC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	FSC認証制度を利用する		外材	2		国外
<input type="checkbox"/>	FIPC認証制度を利用する		国産材	2		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		国産材	4		国内
<input type="checkbox"/>	クリーンウッド法に基づく証明		外材	4		国外

今年度の希望戸数

B. 2019年度における補助 対象の木造住宅の申請要望戸数 (必須) (地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望 戸数は内数を記載)	タイプ		経験/未経験	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	要望戸数	内、地域材加算	内、三世帯加算
	長寿命型 長期優良住宅	長期優良住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	6戸	6戸	1戸
10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)				4戸	4戸	1戸	
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数			今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	10戸	0戸	0戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	5戸	0戸	0戸	
認定低炭素住宅			経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	2戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	1戸	0戸	0戸
		未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	4戸	0戸	0戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	3戸	0戸	0戸	
		高度省エネ型 性能向上計画認定住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円)	8戸	0戸	0戸
				10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)	6戸	0戸	0戸
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数			今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円)	20戸	3戸	2戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)	16戸	3戸	2戸	
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数		今年度、交付申請の要望をする戸数(上限125万円)	6戸	0戸	0戸	
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)	4戸	0戸	0戸	
未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限140万円)	8戸	0戸	0戸			
	10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)	6戸	0戸	0戸			
優良建築物の申請棟数			交付申請が確実に	0棟	0㎡		

平成30年度の実績

C. 平成30年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択額	420	万円	交付申請額	420	万円	完了実績(竣工予定含む)額	420	万円
	高度省エネ型								
	採択額	530	万円	交付申請額	530	万円	完了実績(竣工予定含む)額	530	万円
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択額	560	万円	交付申請額	560	万円	完了実績(竣工予定含む)額	560	万円	
優良建築物型									
採択額	0	万円	交付申請額	0	万円	完了実績(竣工予定含む)額	0	万円	

D. 前年実績
(達成・未達成)
に対する理由

認定・性能向上がもっと欲しかったが、長期に変更できる物件があったので良かった。消化率は絶対に100%にしようと、ヒアリングに力を入れた。

